

鳥羽市地域公共交通会議会議録

会議の名称	平成 28 年度第 2 回鳥羽市地域公共交通会議バス幹事会
開催日時	平成 29 年 1 月 13 日（金）10：30～12：15
開催場所	鳥羽市民文化会館 中会議室
議題	1. あいさつ 2. 協議事項 (1) 事業評価について【資料 3】 (2) 鳥羽市地域公共交通網形成計画について【資料 4】 (3) ダイヤ改正について【資料 5】 3. その他（報告事項） ・かもめバス利用状況統計について【資料 6】
会議資料	【資料 1】 席次表 【資料 2】 委員名簿（バス幹事会） 【資料 3】 事業評価について 【資料 4】 鳥羽市地域公共交通網形成計画（案） 【資料 5】 ダイヤ改正について 【資料 6】 平成 28 年度かもめバス利用状況統計
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	3 人（三重運輸支局 杉山、三重交通 服部、山本）
出席委員	斎藤会長代理、小出委員、富永委員、今井委員、清水委員、中谷委員、世古口委員、中垣内委員、中林委員、傍島委員、榎委員
オブザーバー	なし
欠席委員	加藤委員、濱田委員、上野委員、村林委員、中村委員
事務局	定期船課 野呂、大矢
<p>1. 開会</p> <p>○野呂事務局員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・配布資料の確認 <p>○斎藤会長代理</p> <p>みなさん、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。</p> <p>ご出席ありがとうございます。会長退任について私から報告させていただきます。皆様に幹事会開催の通知をさせていただいたのが 12 月 16 日です。その後出席の報告をいただいている折、28 日急遽課長会議の開催がありまして本幹事会の会長である副市長の退任について市長の方から伝達がありました。交通会議の要綱では、会長の代理は会長があらかじめ選任することになっております。しかし、引継ぎの時間がなかったため、関係部署を通して市長に今回の公共交通会議の開催、会長代理の選任について相談をいたしました。その結果、市長の指名したものととして事務局長である私とその職を代理することにまりました。本日の幹事会につきましては特例ではありますが私が議長を務めることになりましたので委員の皆様にはご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>○野呂事務局員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席委員の報告 <p>2. 協議事項</p> <p>(1) 事業評価について</p> <p>○野呂事務局員</p> <p>資料 3 について説明。</p>	

○齋藤会長代理

事務局に説明させましたがご意見・ご質問はありますか。

○小出委員

事業評価について補足説明をさせてください。

本省様式では、路線ごと単体の評価でしかない。評価するためには地域の交通ネットワーク全体を見ていかないと意味がないということで中部運輸局では評価様式を独自で設けております。ただ一部の協議会では補助金をもらうためだけに評価している団体があり、それでは意味がないので、評価のやり方を変えていかなければならないということで、今年度一年間かけてどのように変えるか検討しているところです。その一環で評価の様式も今年度から新しい様式を使っています。なるべくいいものにするために現在検討しています。こちら（資料3）については、今日の協議会で合意していただいたものを1月18日までに国に提出してもらうことになっています。提出してもらったものを国の方で2次評価を実施します。2次評価は学識経験者に入ってもらった第三者評価委員会を設置しており、評価委員会の中で学識経験者に助言をいただきながら評価の内容を担保できるようなしくみと構築したうえで国として2次評価を行っている。2次評価結果については、3月をめどに各協議会にお返しをしますので次年度以降の取組の参考にしていただきたい。最後にはお願いですが、ここに書いてある評価以外でも地域としてがんばった取組があれば、事務局に伝えていただいてそれを追加していただきたい。

○今井委員

路線バスの取組に対して、老人会に話をしているとのことですが、三重交通からも話をしてもらっていますか。三重県の会議の中で三重交通も免許自主返納するととっても有利なサービスがあると聞いています。鳥羽のよいところは、各交通機関と市民、行政の情報がまわって会議の場で共有されるところだと思います。そのあたりがこの文章では伝わりにくい。

○齋藤会長代理

私も三重県の会議に参加しており、三重県に対しても新しい情報があればお知らせいただけるようになっている。

○富永委員

免許自主返納者に対して割引などは考えていますか。

○野呂事務局

割引までは現在は考えていない。福祉施策でいきいきおでかけ券がある。今後も福祉部門と連携しながら、老人クラブに足を運んで教室を開催していきたい。

○富永委員

割引について自主返納者を対象とする自治体と、高齢者全体を対象とする自治体がある。

○野呂事務局

市長選もあります。そのあたりは今後検討していきたい。

○傍島委員

自主返納者に対して一時的なものではパフォーマンスのようなもの。早くから自主返納している人もいる。予算的にも自主返納者が増えてくれば、割引できなくなる。そのような施策はあまりよくない。現在鳥羽市が進めているいきいきお出かけ券のように老人全体を対象とするほうがよい。

観光客は、交通渋滞の原因にもなっている。観光客用の臨時バスを走らせてほしい。

○中林委員

バスの追車については現在もしている。鳥羽のバスセンターで人が待っていて乗れないということはない。イベントがあって需要があれば、イベント主体から三重交通に相談してもらえばよい。

○斎藤会長代理

バスの追車については、相差の石神さんマラソンでもイベントを行うということで相談をいただいて三重交通とも協議をしながら追車の準備をしている。相談いただければ対応できると思う。

○今井委員

バスを使えばアルコールが飲める。お父さんでも飲めるというアピールをしてほしい。

○榎委員

私は9年前に自主返納した。今になってメリットがあるといわれても。タイムスリップしたい。

○斎藤会長代理

初めから免許をもっていない方もいる。自主返納者だけでは不公平感もある。傍島、榎両委員から意見もいただいたので、そのあたりを考慮して検討していきたい。

○清水委員

外国人観光客について、バス、船に乗る外国人も増えているのか。

○野呂事務局員

観光統計では増えている。定期航路でも数字はないが2人組の外国人が増えているように感じる。

○清水委員

多国語したマップについて、よく使う観光地のバス停には記号をつけるなどしてはどうか。

○野呂事務局員

マップ作成時には考慮したい。また、観光客数の把握についても研究していきたい。

○中谷委員（道路交通法改正の資料配布）

道路交通法が改正になる。高齢者の事故が多い中、免許がなくなる方が増えてくる。高齢者が生活していくためには公共交通機関の充実が必要となる。鳥羽市では路線バスも充実しているのは理解しているが、一層の充実、路線を増やす、本数を増やすことをお願いしたい。無理難題かもしれませんがよろしくお願いしたい。

○世古口委員

高齢者が免許を返納しても、家に閉じこもっていればよいというものではない。よい対応をしていかなければならない。

○中垣内委員

高齢者の事故が増えており高齢者事故を無くしたい。大事なことはその方々は車が好きで乗っているわけではない。当社も免許返納に取り組んでいるが、いろんな関係団体でいろいろな角度から取り組んでいかないと、単に割引をアピールしたところで例えば1日2便では生活がむずかしい。現在でも乗り方教室等で網羅している部分はありますが、交通弱者に対してバスの存在についてもっともっとわかりやすく安全に移動できるということをアピールしてことが大事だと思う。

○中林委員

自己評価の指標について、平成27年度で終わっているのはよいのでしょうか。

○小出委員

自己評価の 2 番でどういう指標で評価するか、4 番でその評価指標に基づいてどう評価したのかを書いてもらいたい。27 年度まででよいのかということについては、実績がでるところまでということになるので、ここまでしかデータがないということならば致し方がない。

○中林委員

実はサミットの関係で平成 28 年度は特殊な要因があり通常とは違う結果となっている。そのあたりも盛り込む方がいいのではないか。

○斎藤会長代理

平成 28 年度ですと途中までになってしまいます。委員ご指摘の点はそのとおりなのでどのようなデータにするのか三重運輸支局と詰めさせていただいて、改めさせていただきたいと思います。

○中林委員

免許証の返納についてですが、三重交通では現在セーフティパスという乗り放題の定期券がある。もっと利用してもらうために、値下げ、期間の細分を検討している。これを PR することで返納した方が少しでも不自由のないようにとバス会社としてできることしたいと考えている。しかし、バス会社ができることには限界がある。バスは最大公約数的な動き方しかできない。各家の前には行けないし、利用がない場所では走れない。タクシーをどのように使うかが今後大きなテーマになってくると思う。

返納者のニュース等をみていてバス・タクシーを乗るのはお金がかかると思われていると感じる。価値観を変えるのが大事だと思う。実際は車を維持するためも多くのお金を使っている。車には払うがバスには払わない。というのが現実。いままで使っていたお金の使い方を変えるという考え方を促すような周知の仕方が大事で、それに対してフォローする制度が必要であると思う。

○斎藤会長代理

いままでなかった意見で、交通にかかる費用の価値観を変えるという意見をいただきました。

○榎委員

高齢者の免許証の自主返納の数は増えていますか。

○中谷委員

鳥羽市の免許人口のうち約 25.9%は高齢者。75 歳以上の人身事故は鳥羽で 3 件。少ないようですが、鳥羽市の人身事故が減っている中でまだこれだけあるとも言える。幸いにしてこれまで大きな人身事故につながっていないだけだと私は認識している。自主返納の数に関しては今日データをもっていきませんが、テレビ等で特集されると問い合わせも多くあります。家族の方と一緒に警察に来られることもあります。高齢者だけに注目するわけではなく学生のことも考えなければならない。高齢者に対応するためにその他の人に影響あるのはいけない。よって現状を維持しつつ増便をお願いしたい。

○斎藤会長代理

ご要望として事務局でも受け止めたいと思います。

○傍島委員

外国人のお客様を増やそうということで、東京都では行先別に床へ色付けをしている。バスセンターでの案内に色を配してはどうか。センターだけでなくバスにも行先別の色を配してはどうか。案内サインであれば一度お金をかければよい。

○斎藤会長代理

今後検討していきたい。現在でもバスセンターでは乗り場に対して色分けしている部分もあります。

○齋藤会長代理

意見をたくさんいただきましたので、それらを盛り込んで修正して提出するという事で事業評価の案にご承認いただける方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

ありがとうございます。いただいた意見、運輸支局の意見を聞き、修正したものを提出させていただきます。

(2) 鳥羽市地域公共交通網形成計画について

○野呂事務局員

資料4について説明

鳥羽市地域公共交通網形成計画の素案です。内容を見ていただいて、次の機会にご意見をいただきたい。

○齋藤会長代理

取組の部分に関しては、春には市長も変わります。新市長の考えも計画に盛り込みたいので、本年度の完成を予定しておりましたが、市長交代後の完成としたいと思います。

○富永委員

鳥羽市は公共交通の見える化を先進的に進めてもらってましたので、計画の中でぜひ記載していただいたらよいと思います。

○齋藤会長代理

公共交通利用促進ネットワークの方に、協力いただいてやってきておりますので、そのあたりも記述していきたいと思います。

この計画案について、会議終了後でも気になることを連絡していただいたり、今後の会議でお伺いしたいと思いますのでよろしくをお願いします。

計画についてのスケジュールについては事務局から連絡させていただきます。次年度に関しては公共交通会議の回数も増えることになるかと思いますがよろしくをお願いします。

(3) ダイヤ改正について

○大矢事務局員

資料5について説明

○傍島委員

安楽島線での要望について、現在では難しいとのことですが将来的にも難しいということでしょうか。

○中林委員

この一点だけ修正することはできる。しかし、一つのバスで折り返し運行をしているので、他のダイヤにも影響がでてしまいます。新たにバス一台を投入すればできるが、それには費用がかかる。

○傍島委員

安楽島は終点になっておりますが、待機時間を短くすることはできないのですか。

○中林委員

現状でも待機時間はぎりぎりとなっております、今回は対応が難しいということですか。

○大矢事務局員

この要望は今後も残りますので、電車の時刻であるとか他の状況が変わり実現可能になれば対応していきたいと思います。

○小出委員

ダイヤ改正に伴い認可にかかる路線の変更はありますか。車両の最大値は大丈夫ですか。

○三重交通山本

かもめバスについての最大値は、すべて大型となっております。
路線については、ウスタリアン前の先が廃止となります。

○榎委員

坂手からの 11 時台の佐田浜への定期船があるのですが、ダイヤ編成上動かすことができないでしょうか。定期船のダイヤ改正に伴い船が着いてから乗れるバスが来るまでの時間が長くなった。生活の足としては不便になったとの意見を聞く。少し遅く変更できないか。

○齋藤会長代理

定期船のダイヤ改正を行ったことで、以前はちょうどの時間となっていたのが、時間を待つようになった。他の航路でも 10 時台のバスがなくて待ってもらっているものもある。すべての乗り継ぎについて完全に合わせるのは難しい部分があるのでご理解はいただきたいですが、少しでも乗り継ぎの良いダイヤにしたいと思っている。

○中林委員

交番、ほかの乗り継ぎ、変更したことによる他への影響もありますので一度検討させていただきたい。

○齋藤会長代理

再度、検討させていただきます。

○野呂事務局員

高齢者対策として、総合病院は隣の伊勢市しかない。それに関しても今後いろいろなご意見がでてくると思っています。おいおい相談させてもらいながらそれらにマッチした公共交通にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

○齋藤会長代理

このような意見について、地域の意見や委員個人の意見でもよいので言っていただければと思います。対応できる場所は対応していきたいと思います。

それでは説明させていただいたダイヤ案についてご承認いただける方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

ありがとうございます。先ほどの改正点については、できるのであれば改正させていただきます。

3、その他（報告事項）

・平成 28 年度かもめバス利用状況統計

○大矢事務局員

資料 6 について説明。

資料中の黄色く反転された部分は見込み数値。前年実績で見込んでいます。

○齋藤会長代理

事務局に説明させましたがご意見・ご質問はありますか。

○傍島委員

いきいきお出かけ券の発行枚数が少ない。100 円分使って残りは歩くという話も聞く。免許自主返納対策でもあるので増やしてほしい。

○富永委員

運賃収入はありますが、年度が終わったらどれだけ経費がかかったかはお示しいただきますか。

○斎藤会長代理

6月の会議で報告させていただきます。

○大矢

今年度に関しては途中ですが、収入も増えているが追車代も増えている。

○富永委員

他の市町では、一人当たりこれだけ経費がかかっているというのを情報提供している例もある。これだけかかっているのなら乗ろうということもある。参考にしてください。

○小出委員

せつかく三重交通が免許証返納について取り組みを行う。三重交通単体の広報になると皆さんが知らないままになってしまう。交通事業者だけでなく、いろんな団体でいろいろな手法で広報をしてほしい。
(その他特に意見なし)

4、閉会

○斎藤事務局長

ありがとうございました。

午後からは定期航路事業の幹事会があり同じように自己評価について議論いただきます。その中でも意見があると思いますので、それらの意見も含めて修正させていただきたいと思います。

これにて第2回鳥羽市地域公共交通会議を終了させていただきます。本日はお忙しい中参加いただき誠にありがとうございます。